

NY マーケットレポート (2017 年 10 月 4 日)

NY 市場では、序盤に発表された米 ADP 雇用統計で、雇用者数の伸びが 2016 年 10 月以来約 1 年ぶりに低い伸びとなったが、市場の予想通りの結果となったことから、反応は限定的だった。ただ、米国債利回りが上昇に転じたことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

そして、その後に発表された米 ISM 非製造業景況指数が市場予想を大きく上回る結果となり、2005 年 8 月以来 12 年 1 カ月ぶりの高水準となったことを受けて、年内の米国の追加利上げが意識され、ドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、引けにかけては、米国債利回りがやや低下したことから、ドル円・クロス円もやや上値の重い動きとなった。

2017 年 10 月 4 日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.52	112.91	112.42
EUR/JPY	132.30	132.64	132.25
GBP/JPY	149.09	149.50	149.04
AUD/JPY	88.40	88.67	88.36
EUR/USD	1.1757	1.1780	1.1735

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20626.66	+12.59
ハンセン指数	28379.18	+205.97
上海総合	休 場	
豪ASX200	5652.06	-49.38
インドSENSEX	31671.71	+174.33

* 中国は中秋節で休場

欧州主要株価	終値	前日比
英FT 100	7467.58	-0.53
仏CAC40	5363.23	-4.18
独DAX	12970.52	+67.87

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22661.64	+19.97
S&P500	2537.74	+3.16
NASDAQ	6534.63	+2.91

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.71	112.93	112.36
EUR/JPY	132.60	132.83	132.36
GBP/JPY	149.40	149.91	149.11
AUD/JPY	88.62	88.70	88.34
EUR/USD	1.1765	1.1788	1.1747

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15721.00	-7.51
ボルサ指数	50565.29	-50.00
ボベスパ指数	76591.44	-171.48

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1276.80	+2.20
NY 原油	49.98	-0.44

10/5 経済指標スケジュール

08:50 【日本】9月対内外証券投資
 09:30 【オーストラリア】8月貿易収支
 09:30 【オーストラリア】8月小売売上高
 16:15 【スイス】9月消費者物価指数
 16:30 【スウェーデン】8月鉱工業生産
 18:30 【南アフリカ】9月SACCI景況感指数
 20:00 【南アフリカ】8月電力消費・発電
 20:30 【欧州】9月欧州中銀・議事要旨公表
 20:30 【米国】9月チャレンジャー人員削減数
 21:30 【米国】新規失業保険申請件数
 21:30 【米国】失業保険継続受給者数
 21:30 【米国】8月貿易収支
 21:30 【カナダ】8月国際商品貿易
 22:00 【メキシコ】9月消費者信頼感指数
 23:00 【米国】8月製造業受注指数
 23:00 【米国】8月耐久財受注
 23:30 【米国】8月EIA天然ガス貯蔵量

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	1.47%	1.47%
3年債	1.61%	1.61%
5年債	1.92%	1.92%
7年債	2.15%	2.15%
10年債	2.32%	2.32%
30年債	2.86%	2.86%

ドイツ10年債	0.45%	0.46%
英国 10年債	1.38%	1.35%

10/5 主要会議・講演・その他予定

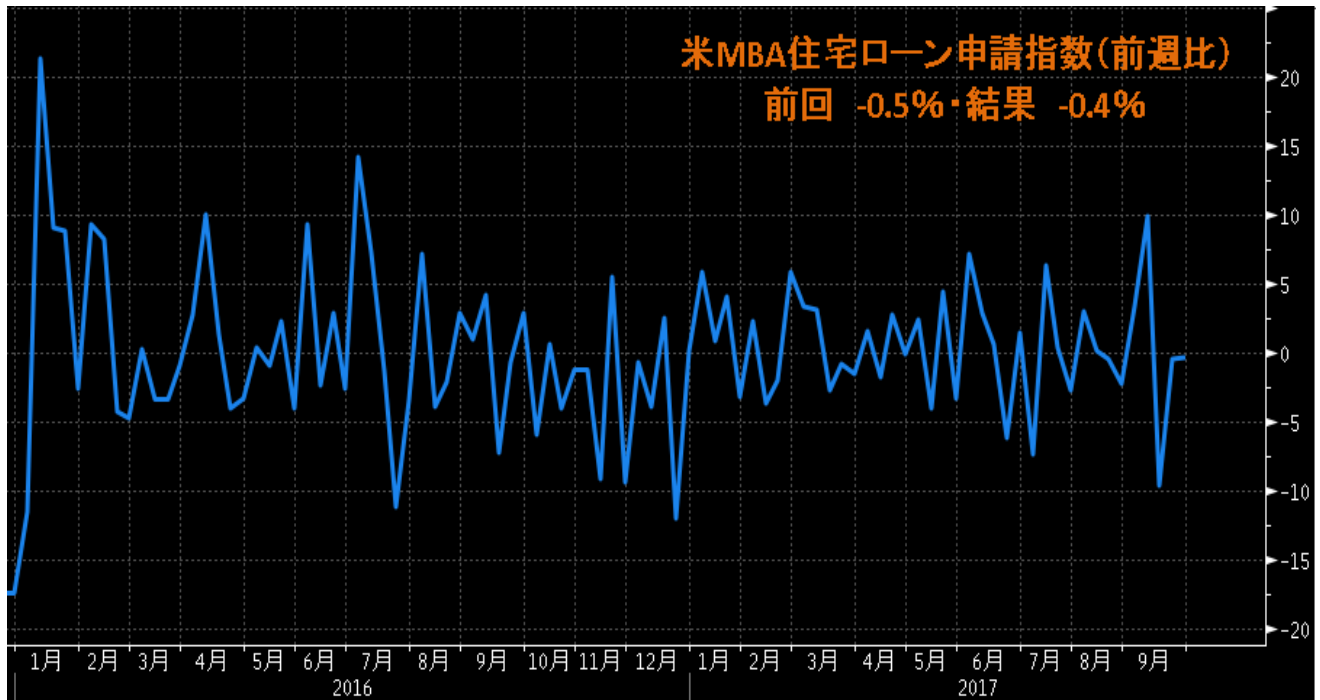
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・フィラデルフィア連銀総裁 講演
- ・カンザスシティ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数（前週比） -0.4%（前回 -0.5%）



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	9/29	9/22	9/15	9/8	9/1	前年同期
申請指数	-0.4	-0.5	-9.7	9.9	3.3	-23.6
購入	1.0	2.8	-10.8	10.9	1.4	4.9
借換え	-1.8	-3.5	-8.5	8.9	5.1	-40.4
固定金利	0.1	-0.1	-9.7	10.4	3.0	-24.8
変動金利	-8.1	-4.8	-9.1	3.4	7.6	1.6

固定金利 30 年 ・ 4.12 ・ 4.11 ・ 4.04 ・ 4.03 ・ 4.06

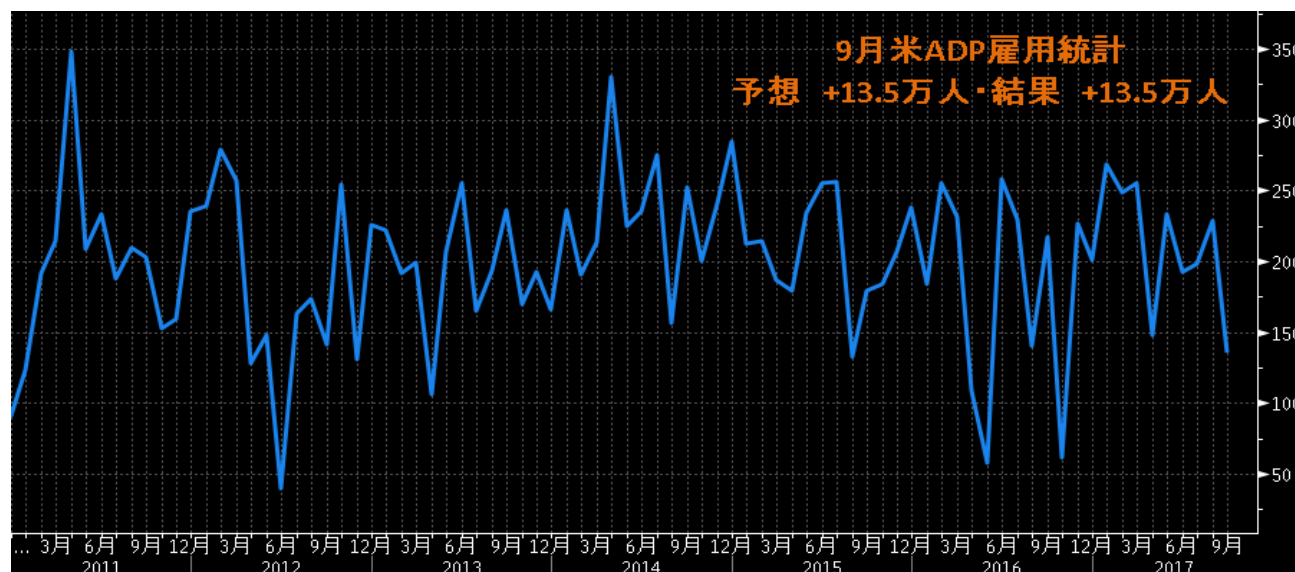
固定金利 15 年 ・ 3.42 ・ 3.38 ・ 3.35 ・ 3.30 ・ 3.34

21 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月米 ADP 雇用統計 +13.5 万人 (予想 +13.5 万人・前回 +22.8 万人)

前回発表の+23.7 万人から+22.8 万人に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ ADP 雇用統計 ▶

(万人) 9 月・8 月・7 月・6 月・5 月・4 月

ADP 雇用者数 (前月比) ・ +13.5 ・ +22.8 ・ +20.1 ・ +19.2 ・ +23.3 ・ +14.8

給与名簿に基づく集計調査による 9 月の米 ADP 雇用統計では、雇用者数が+13.5 万人となり、2016 年 10 月以来約 1 年ぶりの低い伸びとなった。ハリケーン「ハービー」と「イルマ」の米襲来が雇用に打撃を与えた。製造業や建設業を含む財生産部門の雇用は+4.8 万人、サービスの雇用は+8.8 万人だった。業種別では、建設部門の雇用者が+2.9 万人、製造業は+1.8 万人、専門・ビジネスサービスの雇用は+5.1 万人、教育・医療関連サービスは+2.9 万人、交易、輸送および公益事業の雇用は-1.8 万人となった。従業員が 500 人以上の大企業の雇用者数は+7.9 万人、50-499 人の中堅企業では+6.3 万人、49 人以下の小企業では-0.7 万人となった。ハリケーンなど大規模な自然災害の後は、雇用者数が変動する傾向にあり、影響は今後数ヶ月間続く可能性がある指摘されている。

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月マークイット米国サービス業 PMI 55.3 (予想 55.1・前回 55.1)

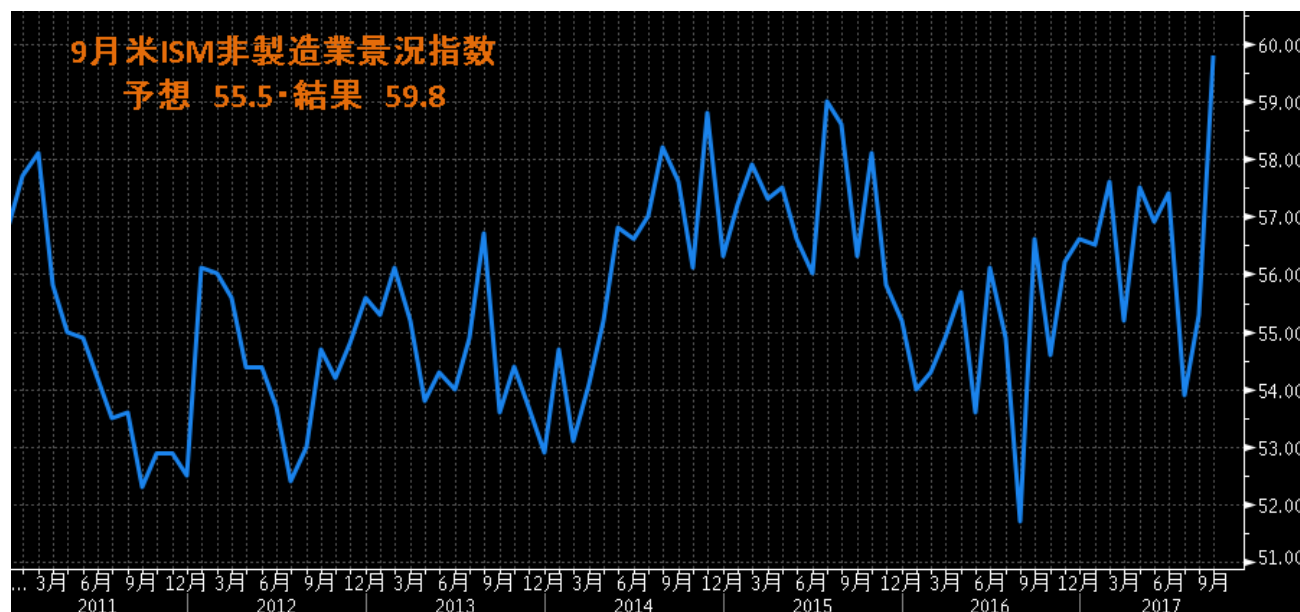


出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月米 ISM 非製造業景況指数 59.8 (予想 55.5・前回 55.3)



経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
総合指数	59.8	55.3	53.9	57.4	56.9	57.5
景況指数	61.3	57.5	55.9	60.8	60.7	62.4
仕入価格	66.3	57.9	55.7	52.1	49.2	57.6
新規受注	63.0	57.1	55.1	60.5	57.7	63.2
雇用	56.8	56.2	53.6	55.8	57.8	51.4

9 月の米 ISM 非製造業景況指数の総合指数は、59.8 と前月から 4.5 ポイント上昇し、2005 年 8 月以来、12 年 1 ヶ月ぶりの高水準となった。景況指数は 61.3 (前月 57.5)、新規受注が 63.0 (57.1)、雇用が 56.8 (56.2)、仕入れ価格が 66.3 (57.9) といずれも前月から上昇した。ただ、在庫は 51.5 (53.5) と低下した。9 月は 15 業種が景況拡大を報告、業況が縮小したのは 2 業種だった。

米ドル-円, 5分足, #100



《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。独 DAX 指数は、米国株高が好感されたほか、自動車株の上昇も指数を押し上げ、取引時間中と終値の最高値を更新した。一方、英 FT100 指数は、ガスや電力株の下落が圧迫要因となり、小幅安となった。



出所：Bloomberg

23：30

《EIA 米在庫統計》

原油在庫・・・602 万バレル減少
ガソリン在庫・・・164 万バレル増加
留出油在庫・・・261 万バレル減少
クッシングの原油在庫・・・153 万バレル増加

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.44 ドル安の 1 バレル＝49.98 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油在庫統計で原油在庫が市場の予想以上に減ったことから買いが優勢となる場面もあったが、その後は、原油生産量の増加が材料視されて売りに転じ、マイナス圏まで下落した。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、前日まで2日連続で終値の過去最高値を更新したことを背景に、当面の利益を確定させるための売りが先行した。

ただ、米主要企業の2017年7-9月期決算で、収益が拡大することへの期待感などから買いが入り、小動きながら堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米ISM非製造業景況指数が予想を大きく上回る結果となったことを受けて、米国の年内の利上げ観測が高まり、ドル買い・円売りが優勢となった。また、米国債利回りや株価の上昇もあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

ただ、終盤には利益確定の動きも見られ、やや上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。